

CSRマネジメント

NTTコミュニケーションズのCSRマネジメント

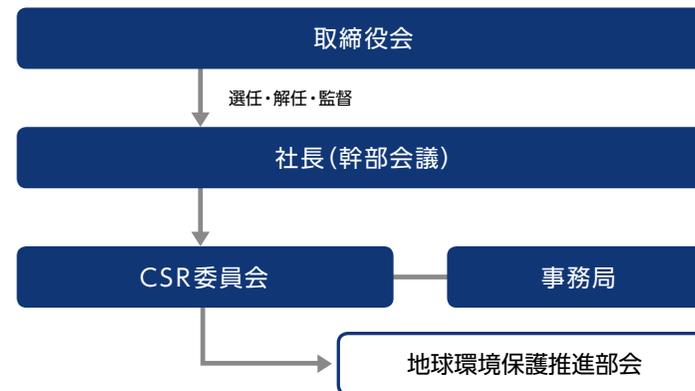
> CSR推進体制

私たちは、CSR活動を推進するために「CSR委員会」を設置しています。委員会はCSR担当役員である常務取締役を責任者と定め、経済的・環境的・社会的な観点からマネジメントを実行する体制を確立することを目指しており、委員会内部には「地球環境保護推進部会」を設けています。

毎年、「CSR委員会」を開催し、CSR報告書の発行および活動内容の報告を行うとともに、活動の推進に向けた施策の検討・展開を図っており、2018年度は、13社の主要グループ会社も出席しました。また委員会に報告・協議された事項については、社会・環境面での重要なリスク情報なども含め、適宜取締役会へと共有されています。

今後もCSR委員会において継続的に議論を進めることで、NTTコミュニケーションズグループ全体のCSR活動の推進および浸透を図ってまいります。

◆ CSR推進体制図



> CSRガバナンスの評価プロセス

私たちは、CSR活動の推進体制を確実に機能させるため、その活動の成果をチェックする仕組みを構築し、継続的に運用しています。具体的には、各年度のCSR重点活動項目の目標として「CSR指標」を定期的に策定。その達成度合いを毎年検証・総括することで、CSRガバナンスの有効性を測っています。

CSR指標はCSR委員会で決定し、CSR委員長がその全体成果に責任を持ち、遂行しています。また、達成度合いの検証にとどまらず、指標そのものの有効性の評価についても、「CSR委員会」で実施しています。「CSR委員会」は、年1回開催しています。

同委員会では、CSR基本方針および重要課題の再検討、指標の更新など、CSRマネジメントの仕組み自体の確認と見直しを随時実施しています。2018年度は、「重点活動項目」と国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」を関連付け、指標の有効性を確認・評価しました。

2019年度は、中期的視座に立ち設定した「中期目標(目指す姿)」に即し、「2019年度目標」を設定し、SDGs目標達成への貢献およびグループCSR活動の持続的で確実なPDCAを遂行します。

> マテリアリティの特定プロセス

NTTコミュニケーションズグループではCSR基本方針を確実に浸透・実践する中期的な目標・指針として、重要性分析にもとづく「CSR重点活動項目」を2011年より定め、PDCAを展開しています。CSR重点活動項目は以下のプロセスを経て特定しました。

Step 1 課題の整理

国連グローバルコンパクトやSDGs、ISO26000、GRIなどの国際的なガイドラインやイニシアチブ、調査会社からの質問テーマなどを参考に、NTTコミュニケーションズグループのバリューチェーンを俯瞰したうえで、CSR側面における重要な課題を整理しました。

NTT Communications Corporation CSR Report 2019

詳細版

CONTENTS

トップコミットメント

企業情報

NTTコミュニケーションズのCSR

CSRマネジメント

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

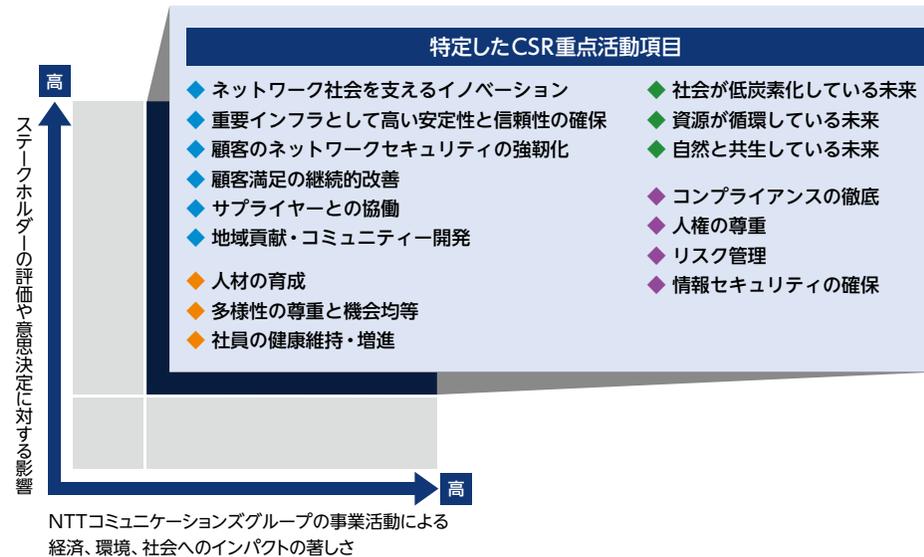
経営統治の継続的強化

Step 2 重要性の評価

対応すべき課題に対して、「ステークホルダーの評価や意思決定に対する影響」と「NTTコミュニケーションズグループの事業活動による経済、環境、社会へのインパクトの著しさ」の2軸にて評価しました。

Step 3 マテリアリティの特定

優先順位付けの結果から、CSR基本方針との整合性を考慮のうえ、NTTコミュニケーションズグループとして取り組んでいく重点活動項目を特定しました。



> 重点活動項目と中期目標

NTTコミュニケーションズグループでは設定した重点活動項目の取り組み施策ごとに、中期目標を設定し、PDCAを推進しています。



詳しくは、各活動報告パートの冒頭にある、2018年度の活動実績および2019年度目標の一覧表を参照ください

社会への貢献 P.11

地球環境への貢献 P.32

人材の尊重 P.59

経営統治の継続的強化 P.73

> 社外から経営陣へのアドバイザリー

グローバルなICTリーディングカンパニーとして、多様なステークホルダーの視点を適切に加味した経営を実現することは重要な責務であると、私たちは考えています。この考えに即し、各役員は、事業を通じた日常的な対話に加え、内外の会合への参加や個別面談などを積極的に行っています。特に事業戦略にサステナビリティの視点を加味するうえでは、内外の専門家・有識者との意見交換が重要であると考え、「経営陣と外部有識者のダイアログ」を継続的に実施しています。



外部有識者とのダイアログ(2019年1月実施)

2018年度は、2017年度に引き続き、黒田かをり一般社団法人CSO ネットワーク事務局長・理事をお招きし、CSR委員長とのダイアログを実施しました。

同会合では、CSR重点活動項目においてSDGsを意識した取り組みとその意義や成果、期待をテーマと定め、今後の私たちの経営戦略への重要な示唆を数多く頂戴しました。なお、経営陣からサステナビリティ戦略の推進業務を委任されている各部門担当者が継続的に実施している有識者レベルのダイアログについても、その内容を必要に応じ経営陣へとCSR委員会などの場を通じて適宜共有しています。

NTT Communications Corporation CSR Report 2019

詳細版

CONTENTS

トップコミットメント

企業情報

NTTコミュニケーションズのCSR

CSRマネジメント

 社会への貢献

 地球環境への貢献

 人材の尊重

 経営統治の継続的強化

NTTグループの一員として

> グループ一体でのCSRの推進

近年、国連総会においてSDGsの採択や、パリ協定の発効など、地球規模での持続可能な社会への取り組みが強く要請されています。こうした背景を踏まえ、NTTグループ各社が一体となってCSRを推進していくための重要な課題(マテリアリティ)である「NTTグループCSR重点活動項目」を見直し、2019年5月に「NTTグループCSR憲章」を改定しました。NTTコミュニケーションズグループでは、この憲章を踏まえ、引き続き、グループ一体となり社会の課題解決に取り組みます。

◆ NTTグループCSR憲章



> NTTグループCSR委員会

NTTグループでは2015年度よりNTTのCSR委員会委員長(代表取締役副社長)を委員長とし、主要グループ8社のCSR最高責任者(副社長、常務取締役)を委員とした「グループCSR委員会」を設立し、グループ全体におけるCSRマネジメントの進展を図っています。

> NTTグループCSRカンファレンスへの参加

NTTグループのCSRに関する優良施策をグループ横断的に共有することで、社員のCSR意識の浸透を図り、今後のCSRや社会貢献のあり方について考えることを目的として、2013年度より「NTTグループCSRカンファレンス」を開催しています。NTTコミュニケーションズグループは同カンファレンスで2016・2017・2018年度と3年連続で表彰されました。

◆ CSRカンファレンスの様子

